

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第7回三和区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### （1）報告事項（公開）

- ・新市建設計画の変更について（通知）

### （2）協議事項（公開）

- ・地域活性化の方向性について

### （3）その他（公開）

- ・三和区小学校の適正配置について

## 3 開催日時

令和4年11月30日（水）午後6時30分から午後7時10分まで

## 4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田英利、池田輝幸、江口晃、小山田幸雄、金井茂康、小林則子、高橋鉄雄、田辺敏行、富村広文、星野幸雄、松井隆夫、松栄由里、宮澤克己、森由美  
（14人中14人出席）
- ・事務局：三和区総合事務所 金子所長、岩崎次長、丸田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、小山地域振興班長、渡辺主任

## 8 発言の内容（要旨）

### 【岩崎次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める

【高橋会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認を12番の森由美委員に依頼

【高橋会長】

それでは、3 報告事項（1）新市建設計画の変更について、事務局の説明を求める。

【金子所長】

- ・資料No.1により説明

全地域協議会から「支障なし」との答申がなされた。よって、3月の定例会に議案を提出予定ということで通知があったので報告する。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問等を求める。

(質疑等なし)

【高橋会長】

それでは、4 協議事項（1）地域活性化の方向性について、事務局の説明を求める。

【岩崎次長】

- ・資料No.2により説明

11月24日、町内会長協議会の全体会が開催された。そこで、皆さんから検討していただいた地域活性化の方向性の案について説明し、町内会長の皆さんから質問と意見を受けた。質問が1件、要望が2件、全部で3件の発言があった。

まず、質問の内容であるが、この地域活性化の方向性の上の囲みに、上沼道の開通を見据えというように記載されているが、下の構成要素の①から⑤のところ、関連するようなものが見当たらないといった質問があった。それに対し、会長からは、取組は道路が開通してからではなく、今からできる地域活性化に向けた取組を考えていきたいというように回答した。事務局からは、上沼道の開通で三和区の道路交通網が向上することから、①から⑤の取組を進めることで市内外から多くの人を訪れ、そして関係人口が増えて、地域活性化に繋げていこうといった思いで、委員の皆さんが検討されたというような説明をさせていただいた。

要望は2つあり、1つは農業者を育てていくような取組を重点課題に入れていただきたいというような内容であった。これについて、会長と副会長と相談し、米の産地という

ことで、「安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、米や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発」を、変更後③に追加してある。

変更前の②と③について、通年観光とイベント等の企画ということで、それぞれ記載してあったが、いずれも関連する取組だったので統合した。よって、変更前の②と③は、変更後の②に集約。観光名称の1つとして食のPRもできる北代ぶどう園を例示し、通年観光プラス、イベント等の実施とした。

もう1つの要望は、地域福祉活動計画。これについては、社会福祉協議会の方で、今、実施計画を作っているが、その計画とこの地域活性化の方向性をタイアップしながら進めていただきたいといったような要望であった。それに対しては、分かりましたといったような回答をしている。

**【高橋会長】**

変更後の構成要素について、意見をいただきたい。

**【星野委員】**

④の「新たな地域づくりリーダーの育成と社会教育の推進」に、安全・安心グループで提案させてもらった、「地域コーディネーターの育成」を付け加えてもらえないか。

**【小林副会長】**

安全・安心グループで十分検討した内容だと思うし、その文言があってもいいと思う。

**【高橋会長】**

他になれば、これは前向きな話なので、これも項目の中に入れていただきたいと思う。

地域協議会後の勉強会で、自主的審議に向け、皆さんの意見を聞きたいと思うが、まずは、この地域活性化の方向性を市に提出することになっているので、ここで決定したい。多少の文言整理は事務局の方に任せることとし、大幅に変更という意見があれば、この場で受けたい。

**【松栄委員】**

構成要素の③であるが、「安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成」の後、また「米や地酒」となっているので、例えば米ではなくて、味噌とか別のものを入れた方がいいのではないか。

**【高橋会長】**

最近新聞にも掲載されたが、青木味噌がまた最高賞を受賞したというのもあるので、

文言の変更はいいと思う。

他に意見等あるか。

**【森委員】**

町内会長協議会の会議の時に、農業者の育成という要望が出されたということだが、どの項目にも反映されていない。③の内容は品物である。

**【小山田委員】**

私も町内会長協議会に出席していたが、その時は、いわゆる後継者がいなくて困っているという悩みの部分の発言だったと私は捉えた。その辺のところをどういうふうと考えていくのか、検討してくれないかという意見だったと思う。

**【岩崎次長】**

今、三和区には田んぼがたくさんあり、それを次の世代に引き継いで守られていくという意味合いもあったと思う。プラスその米を生かしたまちづくりのような思いもあったのではないかと話を聞いていて思った。そして、農業の後継者というのは、農協であったり、生産組合であったり、そういった方々が今後努力されて、またいろいろな活動をされると思った。ただ地域協議会で今後議論して何ができるのかといった時には、やはりその米を生かしたまちづくりというところに主眼を置いて議論した方がいいのではないか。それによって、後継者も出てくるだろうし、新たな取組で米を生かしたまちが出来上がるのではないかとということで、会長、副会長と話をした中でこのような文言にした。

ただ地域協議会として、農業者の後継者不足といった課題解決の方策を考えるということであれば、プラスして入れてもいいと思うし、その辺は議論していただければと思う。

**【高橋会長】**

私も次長と似たような捉え方をしたが、担い手不足を文言に入れるのであれば、そのようにしたいと思う。

**【小山田委員】**

④に新たな地域づくりリーダーと書いてあるが、先ほどの説明だと、福祉計画に基づく観点のリーダー的な意味合いで私は受け取ったのだが、ここの中に米だとか、そういう人たちも包含する形の中で、文言はこれでいいと思うが、勉強会の中でどんなことができるかということも意識をしてやっていけばいいのかなと個人的に思う。

**【高橋会長】**

福祉計画ということで、町内会長協議会の会長からそういう要望があったけれども、確かに勉強会の中でそれを進めていくには、当然、社会福祉協議会の方々との話し合いが必要になってくるので、それはまたそれとして、方向性が見えてくると思う。

#### 【金子所長】

地域福祉活動計画に関しては、市の地域福祉計画に対応する社会福祉協議会の実施計画である。本来であれば、福祉分野での三和区における実施計画であり、それに付随する形で地域リーダーが必要だという形はあるかと思うが、社会福祉協議会の計画は、福祉分野に着目した計画になるかと思われるので、地域づくりリーダーと地域福祉活動計画は、関係ないとは言わないが、それに基づいて地域づくりリーダーができるとは考えていない。

#### 【高橋会長】

まず、農業の後継者問題を新たにここに加えるのかどうか。

三和区にも法人があり、認定農業者の会もあるが、その方々とも十分な話し合いがまだ済んでいないのも事実である。いずれにしても、この場で新たな方向を決めたいと思うので、意見があればお願いしたい。

#### 【森委員】

やはり④の文章の形だと、小山田委員が言われたように、ここの中で農業者などの考え方があればいいが、ここにこういうふうに挙げた時には、どちらの言葉が強いかというと、社会福祉協議会とのつながりの方であり、その中での新しいリーダーというニュアンスが強いように私には思える。

#### 【金子所長】

社会福祉協議会と全く関わりないとは言わないが、それを主眼には置いていないと私は考えている。

#### 【小林副会長】

社会福祉協議会の作っている福祉計画は、所長も言われたように福祉分野でのことであって、地域づくりというのは地域全体ということで捉えてもらい、農業であり、商業であり、全体の中のリーダーの育成、あるいはコーディネーターを配置していく中で、福祉などの細かい部分になる。そういう捉え方だが、細かく説明しないと分からないのでは、もう少し足した方がいいのかなと今思っている。

地域づくりと言うと、福祉だけではないということは分かるのだが、あえて農業が盛

んな三和にとっては、そういう言葉を出した方がいいのかなとも今思いつつある。地域づくりと言うと全ての人材のリーダーを育成するという捉えなので、説明しないと分からないのでは、少し無理があるかなとも思う。

**【高橋会長】**

福祉の地域づくりリーダーの育成は聞いたところによると、公民館活動の中でそれを育成し、地域でその福祉に対して進めるというのが今までの流れであったようである。

**【金子所長】**

社会福祉と社会教育とは違う。それは多分社会教育の話であって、地域福祉活動計画とは関係ないと思っている。あくまでもここで言うのは社会教育であり、社会福祉協議会ではないのでご認識いただければと思う。

**【宮澤委員】**

私は小山田委員の意見に賛成する。新たな地域づくりということで、要は広い地域であるから、広い意味でそういうものを全て含めて検討する。農業部分を謳ってしまうと、我々だけでは決して結論が出ないし、担い手等いろいろな方がおられるので、そちらの方がかえって専門家である。私はこの書き方で十分だと思う。

**【松栄委員】**

「まちづくりリーダー」を「地域づくりリーダー」に変えた意図は何か。

**【岩崎次長】**

「まちづくり」も「地域づくり」も同じと考えてもらっていい。大事なのは、「新たな」というところである。今いるリーダーの育成なのか、それとも新しく入ってきた人の育成なのかについて、会長、副会長と話し合った時に、会長は新たな人材というところに主眼を置きたいというイメージがあった。あとは「まちづくり」でも「地域づくり」でも同じである。

**【田辺委員】**

言葉のあやかかもしれないが、「地域づくり」のリーダーということになると、意味合いは非常に重くなるはずである。三和区内にある全てのものを網羅して、その中で話し合いをするということになる。一方、「まちづくり」ということになれば、ある程度限定した話し合いということになる。我々の考えとしては、三和区全体を考え、その中でこれから新しいリーダーを養成していくというふうに解釈すべきであると思う。「まちづくり」と一緒だと言われてしまうと、この④の重みがすごくダウンしてしまうので、これから

発展させるために「地域づくり」にしたというふうに私は解釈したいと思う。

**【森委員】**

「新たな」というところが、一体どこにかかっているかが問題である。新しい地域を作るのか、それとも新しいリーダーを作るのか、これを両方並べてしまってはいけなくて、新しいリーダーが欲しいのであれば、「地域づくりのための新たなリーダーを」とするとより具体的になる。

**【岩崎次長】**

皆さんがどのようにしたいのか決めてもらえれば、その辺の訂正は事務局です。事務局としては、変更前の「まちづくりリーダー」を一つの単語として捉えたので、同じように「地域づくりリーダー」を一つの単語として捉えた。よって、「新たな」は、人であるリーダーにかかるものと認識して付け加えただけの話である。それが分かりにくいということであれば、例えば、「地域づくりリーダー」をかぎ括弧でくくり、一つの単語とするということもできる。それでよければそうするし、新たな地域をつくるということであれば、全く違う話になる。そこを議論していただきたい。

**【松井委員】**

今、次長の言われた方法でいいと思う。

**【高橋会長】**

他に意見等あるか。

なければ、今ほどの意見を踏まえ、事務局で訂正するところは訂正し、加えるところは加えていただき、それをもって完結したいと思うがこれでよいか。

(はいの声)

**【高橋会長】**

では、決めていただいたので、この後の勉強会で自主的審議に向け、どのようにまとめていくか協議したいと思う。

以上で、地域活性化の方向性について、を終了する。

**【高橋会長】**

それでは、5 その他に入る。

まず、小林副会長から報告がある。

**【小林副会長】**

1 1月25日、午後6時半から、この会場で三和区振興会の理事会があった。

内容は、今年度の事業の進捗状況と次年度に向けての事業の見通し、収支などの説明であった。収支の中では、来年度もほぼ同じような事業、委託を受けていくような方向が示されていた。毎年度マイナスの収支であったことから、質問をさせてもらったところであるが、新たに資料が示されたら報告したいと思う。

**【高橋会長】**

前後してしまっただが、その他の（１）三和区小学校の適正配置について、事務局の説明を求める。

**【丸田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長】**

・資料No.3により説明

**【高橋会長】**

ただ今の説明について、質問等を求める。

(質疑等なし)

**【高橋会長】**

質問等がなければ、三和区小学校の適正配置について、を終了する。

その他、報告等あるか。

**【小山班長】**

・令和5年上越市新年祝賀会の開催について案内

**【松井委員】**

祝賀会は、スケジュール的にはどんな内容なのか。

事前のセレモニーがあって万歳すると、ほとんど懇親する場がない雰囲気である。ただ行って帰って終わるといような雰囲気を前回も感じたので、懇親の場づくりについてどういう工夫をされているのかお聞きしたい。

**【金子所長】**

これまでは、若干の食べるものがあり、お茶を飲みながらご歓談いただいていた。昨年はコロナの関係でそれを無くして行っているが、一定の時間は歓談をいただく形で、特に歓談の場を全く作らなかったという感じではなかったと思っている。

**【高橋会長】**

次回の開催日について決定する。

**【岩崎次長】**

・第1候補12月21日（水）、第2候補12月20日（火）



- ・開会時間は、午後 6 時 3 0 分から

**【高橋会長】**

- ・日程調整
- ・12月21日（水）、午後 6 時 3 0 分からに決定  
以上で、本日の地域協議会を終了する。

**【小林副会長】**

- ・挨拶
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-532-2323（内線 215）

E-mail：sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。